

いなみ野の風

特定医療法人社団仙齡会 いなみ野病院
 いなみ野病院 介護医療院
 住 所 加古川市平岡町土山423-2
 T E L 0 7 8 - 9 4 1 - 1 7 3 0
 F A X 0 7 8 - 9 4 1 - 1 7 3 4

ホームページアドレス <http://inamino-hp.senreikai.org>
 メールアドレス inamino@senreikai.org

「令和2年を迎えて」

いなみ野病院 院長 嘉悦 博



いなみ野病院は、令和元年8月より、医療療養病棟120床、介護医療院170床の計290床となり、介護療養病棟が介護医療院と名称を変えて運営することになりました。

昨年8月以降も、関連の医療、介護施設から多数の患者様の紹介をいただき、誠にありがとうございました。当院の受け入れ体制の不備から、患者様に待機していただくケースが生じ、大変申し訳なく思っております。ようやく、この体制に対処できるようになりましたので、今後はより早く入院、入所いただけるかと存じます。

また、介護医療院の内容自体が幅広い患者層を含んでいるため、紹介いただく施設の方には、従来の介護療養病棟と同じと認識されているようです。しかし、現実には、介護保険の範囲で療養、介護を行うため、ケアの内容に制約があり、幅広い患者層を受け入れるには無理があるようです。

2年前の平成30年1月のいなみ野の風には、「介護医療院は、従来の介護療養病棟の機能に加え、終末期の見取り対応、在宅や施設入所者の入所など、多様な役割を持っています。回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟からの入所は在宅扱いとなります。これにより、医療法人仙齡会にとっては、

急性期病院から療養型病院、在宅該当施設までも幅広い組織となり、東播磨地域の住民の皆様に医療、福祉の両面でより貢献できることとなります。」と書かせていただきました。

地域包括ケアシステムの中でのいなみ野病院ですので、この地域の関連の医療、介護施設などとの連携を一番に考え、今後の運営方針を決めて行きたいと存じます。現在の当院の周囲の状況からは、介護医療院は終末期の見取り対応、在宅や施設入所者からの入所を主にしていけば役割を果たせるのではないかと考えています。

介護医療院のことばかりになりましたが、医療療養病棟も地域包括ケア病棟とポストアキユート機能、在宅からの受け入れなど競合する部分もあり、今後の運営は変わってくると思われま。

いずれにしても、保険制度や職員確保などの面で医療、介護の情勢は厳しいものがあり、円滑な運営は容易ではないと認識しています。運営内容、連携方法などについて、さまざまな立場の皆様から御意見を頂ければ幸いです。

本年も、従来と変わらぬご指導の程宜しくお願い申し上げます。

特定医療法人社団仙齡会 いなみ野病院

基本理念

当院は、患者さんを尊重し、患者さんから信頼される安全で質の高い医療を提供することによって、地域の高齢者医療の向上に努めていきます

基本方針

- 1) 時代の進歩に即応した質の高い安全な医療を提供するために、日々研鑽と努力を重ねます
- 2) 高齢化社会のニーズに応じ、患者さんと家族の納得する、医療・療養・介護サービスを行います
- 3) 認知症疾患の医療・介護の充実をはかり、地域の高齢者医療・福祉に貢献します

2分間スピーチ

8月

南館2階病棟

西本 多加子さん

皆さん、8月8日は何の日かご存知でしょうか。笑い声「ハ・ハ・ハ」にちなんで「笑いの日」だそうです。

今日はこの笑いの日にちなんで、笑顔について話したいと思います。

学生時代の恩師の言葉で心に響いた言葉があります。

「人生は一度きり、おいしいものをいっぱい食べて笑顔になりなさい。楽しいことを沢山して笑顔になりなさい。そして周りを笑顔に出来る自分になりなさい」と。

「笑いは人の薬」と言うように、笑顔の力はすごい。自分も変わるし、相手も変えることが出来る。とよく言っておられました。

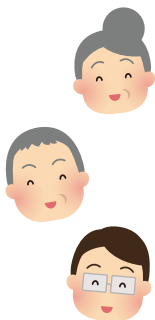
笑うことは心にも身体にも良いことはよく知られていると思います。

笑うことのメリットはたくさんあり、ストレス解消、血行促進、幸せに感じる…等、良いことづくしです。

楽しいと思って笑うことはもちろんですが、作り笑いにもプラスの効果があるそうです。

しんどいことや苦手な作業をしている時に笑顔を作って作業をすると、脳がα波を出して楽しいと錯覚し、リラクゼーションやストレス軽減効果が期待できるそうです。

自分にも周りにも良いことだらけの笑顔。仕事においても、笑顔を決やさないように心がけていきたいと思っています。



9月

地域連携課

中村 ひかるさん

私は、日頃から第一印象を良くすることを心掛けています。

それは、たった数秒で第一印象は決まってしまう、もしも自分の第一印象が悪ければ相手によっては1年以上持続すると聞いたことがあるからです。たった数秒で悪い印象を持たれてしまふとなかなか覆すのが非常に難しいそうです。

第一印象を構成する要素は見た目が5割、声が4割、話の内容が1割ぐらいと言われています。「人を見た目で判断するな」と言いますが、少なくとも見た目で判断されることもあるということですね。「見た目」とは広い意味で考えると、顔つきや服装だけでなく清潔感や仕草、振る舞いなども含まれると思います。なので常に身だしなみや言葉遣い、笑顔に気を付けて業務しています。

もちろん自分の第一印象が相手に良いからといって、それから相手も自分

にずっと良い印象を持つてくれるとは限りません。第一印象が悪かった場合でも、話をしていくうちに親密になるといいうちにもあると思います。ですが、まずは良い第一印象を持つてもらった方が、この先より良い関係性を築きやすいのではないかと思います。

毎日が患者様、家族様との出会いですので、1つ1つの振る舞いに注意して、良い関係性を作れるようにこれからも努めていこうと思います。

10月

栄養課

古田 彩乃さん

私は以前勤めていた病院の事務部長との会話のなかで言われた言葉を大切にしています。

それは「求めてはいけなさいよ。まず自分から与えなさい。」という言葉でした。見返りを求めずに、自分ができることをやりなさいということでした。その会話を機に考え方を改めました。その結果、心にゆとりを持つことができ、穏やかな

気持ちで行動できるようになりました。

皆さんはこんな風に思うことはありますか。これをして褒めてもらえるかなとか、これをしたら感謝してもらえかなとか、これをしたら〇〇してくれるかなと思うことはないでしょうか。無意識のうちに見返りを求めていることはないでしょうか。そしてその見返りが自分の考えていたものではない時、イライラしたりストレスを感じることはありませんか。例えばもっと感謝してくれてもいいのにと、私は手伝わったのに手伝わってもらえなかったとか、私は〇〇したのにしてくれなかったなど思ったことはありませんか。

私は事務部長との会話で、何かをするとき無意識に見返りを求めているのだと気づきました。そして、見返りを求めることで自分が不快な思いをしたり、ストレスを感じていることにも気づきました。その時から相手に求めず、とりあえず自分ができることをしようと心がけるようになりました。相手の反応がどうであれ、私にできることをしたらそれでいい、気持ちが伝

わればいいな程度に考えるようにしています。そうすることで心にゆとりを持つことができ、気持ちよく行動できるようになります。事務部長とはもう会うことはできませんが、考える機会を与えてくださり感謝しています。言われた言葉を大切に、今後も自分のできることを見つけやっいていこうと思います。



11月

本館1階病棟

日巻 美紀さん

私達、医療者が行う接遇は、対象が患者さんばかりとは限りません。

協働する職員間でも接遇の意識はとても重要です。例えば、挨拶をしても返事を返してくれないというケース。

相手は同僚、上司といった協働する医療者です。挨拶が返ってこないことによって、存在を無視された、考え方や技術・知識を否定されたと感じる人が

いるかもしれません。

挨拶に代表される職員間のコミュニケーションが悪くなると、チーム医療に悪影響を及ぼします。

職員は、ストレスや不安を抱え、業務効率が低下したり、ヒューマンエラーを誘発するかもしれません。また、職場の雰囲気が悪くなり、休職・退職者の増加につながります。転職のきっかけが院内接遇や職場の雰囲気というケースは、実際に多く見られることです。

患者さんは、職員間のコミュニケーションの様子を見ています。院内コミュニケーション不全は、職員のモチベーションを低下させ、さらには患者さんとの信頼関係を損なう結果へとつながりかねません。

病院では、廊下で交わされる挨拶や笑顔、会話などからその病院の雰囲気は伝わってきます。風通しが良い職場とは、職員が働きやすい職場であり、お互いを認め合い意見交換が活発になされ、人の温もりが感じられる病院は、患者さんにとっても居心地のいい、再来したくなる病院になります。

そして、笑顔は、相手に対する好意や親しみだけでは

なく、安心や信頼感をもたらしします。

職員の笑顔は、患者さんの警戒心を解き、緊張をほぐす効果もあります。

居心地よく働きやすい職場には、やさしい微笑みがあふれ、患者さんはその様子から病院への信頼を深めていくのです。

患者さんに選ばれる病院は、職員が働きやすい病院、つまり職員満足度が高い病院と言えます。思いやりの心やおもてなしの心は、職員全員が一つになって患者さんに向き合う姿勢から伝わります。

医療の質の向上には、知識・技術・設備に加えて接遇が欠かせません。

患者さんの笑顔は、私達にとって何よりも嬉しいものです。患者さんと職員、どちらも満足する病院、地域社会に求められる病院を目指していきましょう。

12月

本館2階病棟

片桐 友紀さん

おはようございます。本館2階 片桐です。

今日は「笑顔がもたらす

効果」についてお話させて頂きます。

まず「ストレス解消&プラス思考」

笑顔になる事で脳内に幸せホルモンと呼ばれるセロトニンが分泌され、これによってストレスが解消される。また落ち込む事があっても笑顔になるだけで気持ち明るくなったり楽になれる。

次に「免疫力アップ」

人の体にはウイルスや細菌などから自分を守るナチュラルキラー細胞という免疫細胞が存在し、この細胞が減ってしまうと免疫力が低下し、ガンを発症させてしまうとも言われているのですが、この細胞は笑う事によって活性化させる効果があります。いつも笑顔でいる人といつも不機嫌な人とは寿命が約7年も違うそうです。

次に「人間関係の潤滑」

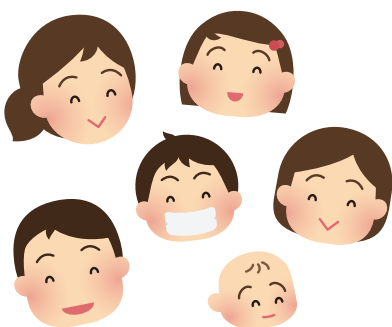
いつも笑顔の人の周りには人が集まり、明るい雰囲気が漂い笑顔でいると自分自身も明るい気持ちにし、人間関係が良好になり物事が良い方向に進みやすくなる。

また他にも笑う事により体内に酸素が多く取り込まれ血行が良くなり代謝アッ

プしたり、心のバランスが取れ自力神経が安定したり、顔全体の筋肉を使うので表情筋が鍛えられ小顔効果となるみ予防になったりと笑う事によって沢山のプラスの効果があるそうです。

私は時間に追われ忙しさから心に余裕が持てず笑顔が、私生活や日々の業務で「笑顔で元気に明るく」を心がけ、一緒に働くスタッフのみなさんや利用者さんを巻き込んでみんな笑顔溢れる本2にしたいなと思います。

「笑う門には福来る！」みなさんも沢山笑って沢山の幸運をゲットしてください。ご清聴ありがとうございます。



2019年10月12日 13:00～16:00“第4回いなみ野病院祭”を開催しました。
 今年度は、介護医療院転換工事を踏まえ10月に開催しました。
 当日は台風接近であいにくの天候でしたが、地域の方々、ご家族様を中心に約60名の方に来院いただきました。
 昨年同様、病院長講演会、各種体験、相談コーナーなどを設置しました。
 主なブースの内容を写真と共にご紹介します。



<< くつろぎカフェ

1階ロビーにカフェスペースを設置し、来場者の皆様に飲み物、軽食を提供しました。
 各ブースを回られた後くつろぎに来られる方が多く、いなみ野病院祭人気ブースの1つです。

特浴紹介コーナー >>

寝たきりのままでも入浴介助が出来る「特殊浴槽」について、介護用人形を使用し実演を行いました。患者様が普段利用されているお風呂なので関心を持っていただくことができました。



<< 健康チェックコーナー

身長、体重、BMI、血圧、骨密度測定、経皮的動脈血酸素飽和度、血糖検査などを実施。
 毎年1番人気のブースで今年は約60名の方が参加してくださりました。

ハンドマッサージ >>

今回初の試みとして職員によるハンドマッサージを通じて触れ合いながらコミュニケーションをとり家族様、地域の方々と交流を深める事ができました。



<< リハビリテーション (ロコモティブシンドロームテスト)

同年代の平均と比べた現在の自分の運動機能を確認する「ロコモ度テスト」
いなみ野病院祭恒例の催しとなっており、昨年体験された方が今年も参加して下さりました。今年も楽しみにしていたと嬉しいお言葉をいただきました。

患者作品展 >>

患者様が作業療法で製作された作品を展示しました。



<< 食事相談、食品サンプル

摂食嚥下障害に応じた段階的な食事対応などの説明を交えながら、ソフト食などを試食していただきました。



2019年12月11日に午前と午後の部の2部構成で「クリスマス会」を実施しました。利用者様、ご家族様、多数ご参加をいただきありがとうございました。



午前の部は、リハビリ室で実施しました。会場の職員はサンタやトナカイの姿、利用者様はサンタやトナカイの帽子を被っていただきクリスマスの雰囲気を楽しんでいただきました。

最初は職員のナレーションで「サンタさんのいちねんかん」を上映しました。内容はサンタがクリスマスまでどんな準備をしているかといったもので上映が終わると「サンタクロースがいなみ野病院にやってきた!」といった声もあり、場はクリスマスムード満載になりました。

次は合唱で「赤鼻のトナカイ」「ジングルベル」とクリスマス定番の曲を歌いました。3曲目は当日の朝に職員からの提案で、来年の2020年は東京オリンピックということもあり前回の東京オリンピックが開催された年に流行した「お座敷小唄」を歌いました。マイクを持って歌う利用者様もいて大いに盛り上がりました。最後の曲は冬の定番曲「津軽海峡・冬景色」を皆様で歌い合唱は終わりました。最後に「ジングルベル」の曲に合わせて歌体操を行い、体を動かしてクリスマス会は終わりました。



午後の部は南館1階デイルームで実施しました。午前の部と同様のプログラムで行われ午前の部同様に大いに盛り上がりました。

多くの方のご参加、ご協力いただきありがとうございました。2020年7月には夏祭り会を実施しますので是非ともご参加をお願い致します。

編集後記

今回の広報誌には10月に実施しました「病院祭」の記事を掲載しています。

当日ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。

次回はバラの開花に合わせて5月に実施致しますので是非お立ち寄りください。

今後も皆様と笑いあえる機会を持ち、地域に貢献していけるいなみ野病院でありたいと考えています。よろしくお願いします。

いなみ野病院 概要

診療科目	内科、リハビリテーション科
病床種別	医療療養病床 2病棟 120床
	介護医療院 3病棟 170床

診療報酬上の施設基準

医療保険

療養病棟入院基本料 1
療養病棟療養環境加算 1
夜間看護加算
認知症ケア加算 2
病棟薬剤業務実施加算 1
地域連携診療計画退院時指導(Ⅱ)
脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ)
運動器リハビリテーション(Ⅰ)
入院時食事療養(Ⅰ)／生活療養
薬剤管理指導料
入退院支援加算 2
診療録管理体制加算 2
データ提出加算 2

介護保険

I型介護医療院(Ⅰ)
夜間勤務条件基準 夜間勤務等看護(Ⅳ)
職員の欠員による減算の状況 なし
ユニットケア体制 対応不可
療養環境基準 基準型
医師の配置基準 基準
栄養管理の評価 栄養ケア・マネジメント体制
身体拘束廃止取組の有無 基準型
特別診療費項目 薬剤管理指導・コミュニケーション療法
リハビリテーション提供体制
理学療法Ⅰ・作業療法・言語聴覚療法・その他